

雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

「主体的・対話的で深い学び」を通して



ボランティア活動としての「額田の里」訪問に58名参加 7月31日(火)
額田の里の皆様と額中生の両者に「笑顔の花」が咲く素敵な活動になりました



習字



輪投げ



ぶんぶんごま



7月31日(火)の日程

- 9:00 生徒会執行部集合
最終打合、荷物搬入準備
- 10:20 学校ピロティ集合
- 10:30 バス出発
- 10:50 額田の里 ホール玄関前集合
- 11:00 奉仕活動(草取り)
- 12:00 昼食、ふれあい活動準備
- 13:00 ふれあい活動前半
- 13:45 後半の準備
- 13:50 ふれあい活動後半
- 14:45 後片付け、
- 15:20 現地集合解散、バス発
- 15:40 学校到着、解散



ボーリング



折り紙



かき氷



ヨーヨー釣り



参加者全員で「ふるさと」の合唱のプレゼント

7月31日(火)、生徒会主催のボランティア活動としての「額田の里」訪問が行われました。希望者58名が、「額田の里」の皆様と同じ高さの目線で話しかけていました。同じ高さの目線で相手の立場に立って対応することで、笑顔が生まれ、心温まる一時となりました。ふれあい活動として習字、輪投げ、ぶんぶんごま、ボーリング、折り紙、かき氷、ヨーヨー釣りを行いました。「額田の里」の皆様のうれしそうな顔を見ると、生徒会主催の「額田の里」訪問が価値ある活動となっていることを確信しました。

最後の「ふるさと」の合唱では、生徒と一緒に口ずさむ高齢者の方が多かったことに感動しました。「ふるさと」の歌詞のよさと生徒の心こもった歌声が、会場全体に一体感を作り上げました。

「生きる力」の育成とは、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つをバランスよく伸ばすことです。今回の額中生の表情を見てみると、「豊かな心」が育成されていることがわかります。

平成30年度第32回中学生の主張コンクール

8月9日(木)9:20~12:20

8月9日(木)に第32回岡崎市中学生の主張コンクールが、岡崎市総合学習センターで行われました。岡崎市内21校の代表の中学生が、自分の体験や人とかかわりを通して、人に伝えたい思いを主張しました。PTA実行委員の方にもこの日にご参加いただきました。21校の10番目に額田中学校の代表生徒が、『サインが伝える心』をテーマに野球部の経験をもとに堂々と発表しました。「野球部の試合中のサインは、複雑な動きの中でチームの選手だけがわかる作戦を伝えます。サインを通して監督の心を受け取り、サインが決まったときは、チーム全体で最高の喜びを得ます。サインが伝わらなければ意味がありません。サインには心が含まれています。身の周りには、チャイム、信号機などのサインがあり、今から何をすべきかの心を伝えてくれます。ヘルプマークの存在を知り、『サインが伝える心』を理解することが大切です。」と主張しました。

他校の代表生徒は、「母から学ぶ人のつながり」、「失敗を見つめて」、「命を守るために」、「言葉の力」などのテーマで、自分の思いを堂々と主張しました。額田中学校の各クラス一人ずつの計7名が、コンクールを聴衆し、これからの生き方を学んだと思います。

審査員長から、主張作文で大切なこととして次のことを学びました。

- ・相手を意識して、自分の主張したいことを明確にする。主張したい理由を述べる。自分の経験から一般化した主張を述べる。
- ・抑揚、ジェスチャーの工夫で、聞き手にわかりやすい主張になる話し方をする。

第46回生徒市議会

8月9日(木)13:20~15:30

於 市議会議場

8月9日(木)の午前、総合学習センターで中学生の主張コンクールの発表を聞いてから、私は市役所西庁舎3階の市議会議場で行われる生徒市議会に出席しました。

各中学校の生徒会役員3名、市内20校の計60名が、市議会議場で内田康宏市長、加藤義幸市議会議長、市幹部の方々に、中学生ならではの視点で、岡崎市の未来に対する政策を提案しました。提案分野は、「岡崎アピール情報発信」、「街づくり」、「防災・安全」、「環境」、「福祉・健康」の5つでした。額田中学校では、生徒会役員3名が出席し、20の提案のうち16番目に「守ろう額田の森を生かそう森の恵みを」を提案しました。「先日、額田中学校で森を守るためのプロジェクト『森の健康診断』が行われました。私も参加し、森を守るためには木々だけでなく、そこに住む野生鳥獣の個体バランスを整えることも大切であることを学びました。そこで、野生鳥獣の生体と被害の実態調査をし、保護活動や鳥獣害対策に生かしてもらいます。また、シカやイノシシの肉を使ったジビエ料理の普及のために、毎年11月に行われる『ぬかたふるさとまつり』で紹介することを提案します。」

岡崎市経済振興部から「環境問題を真剣にとらえ、ふるさとを愛し、ふるさとを大切にしよう自分たちができることを考えていることがすばらしい。この提案の具体化に向けて検討していきます」という答弁がありました。

生徒市議会の最後に、『岡崎子ども100年宣言』を確認して、次の100年に向けて着実に動いてほしいというメッセージがありました。

岡崎子ども100年宣言 平成28年7月1日 岡崎市生徒会連絡協議会 主文

- ・わたしたちは 満開に咲く桜のように みんなから愛される おかざきっ子になります
- ・わたしたちは 岡崎の街を流れる川のように 大切な命を守り 未来へつなぐ おかざきっ子になります
- ・わたしたちは 夢を紡いだ岡崎の先人のように 平和な世界をつくる おかざきっ子になります

額田中学校

- ・わたしたちは 校訓に込められた**敬友・自愛・信頼の精神**を大切に 「合唱の額田」の伝統を守り続けていきます

第38回豊富夏山納涼盆踊り大会

8月14日(火)15日(水)18:00~21:30



小学生、中学生も参加し賑わう豊富夏山納涼盆踊り大会



形埜学区盆踊り大会でトワリングを披露する形埜小6年生

盆踊り大会の2日目は、朝から雨が降っていて盆踊りが実施できるか心配でしたが、17時半頃から小雨に変わり、18:00に雨が止み、予定通りに大会を開始することができました。実行委員長さんの最高の笑顔を忘れられません。多くの人の支えで、自慢の盆踊り大会になりました。「額中生が楽しそうに踊ってくれるので、盛り上がりました。額中生に感謝しています」と実行委員の方が話しかけてきました。額中生が学区の一員として地域の活性化に貢献していることを感じました。盆踊りも「いいじゃん 額中！」の一つになりました。

8月15日(日)、形埜学区盆踊り大会で、20:00からの形埜小学校6年生6名によるトワリングを見に行きました。6名だけのトワリングは、人を感動させました。運動場のコンディションが悪く、形埜学区では体育館で盆踊りを実施していました。体育館の中は、形埜学区民の熱気で満ち溢れていました。